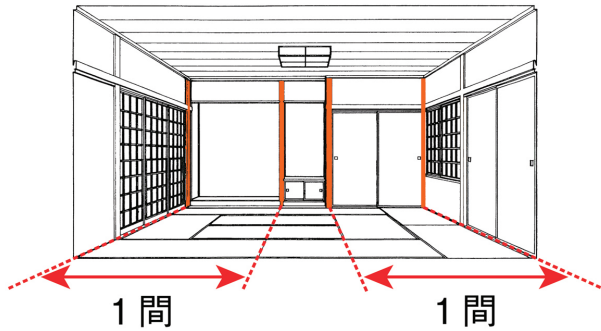


間

けん



度量衡換算表（長さ）

メートル (m)	寸	尺	間
0.0303	1	0.1	0.0166666
0.30303	10	1	0.166666
1	33	3.3	0.55
1.81818	60	6	1

概要

「間（けん）」は、尺貫法（しゃっかんほう）における長さの単位のひとつです。

尺貫法とは、1891年の度量衡法（どりょうこうほう）によって定められた計量の方法で、長さの単位を「尺」、体積の単位を「升（しょう）」、質量の単位を「貫（かん）」とするものです。その後いくつかの段階を経て1959年にメートル法に統一されるまで、日本における度量衡の単位として使用されてきました。1間の長さは、それまで時代や地方によって様々でしたが、1891年に制定された度量衡法で「1間 = 6尺 = 1.812メートル」と決められました。（なお、10尺は1丈（じょう）とされます。）もともと古来中国では、柱と柱の間隔を「間」と呼び、その影響で「間」は柱間寸法の呼称として用いられてきました。そのため、メートル法を採用している現在でも、日本建築の間取り、建具や畳の寸法の基準となる概念として根付いているため、「間」という単位はなじみのあるものになっています。ちなみに土地や家屋の広さを示す面積の単位として1間四方を1坪（つぼ）と呼びます。歌舞伎を基点とする舞台（間口（まぐち））の幅や奥行を示す単位としても、「間口○間」「幅○間」「奥行き○間」という呼び方が用いられています。